

2020 年度
ミス・パリ エステティック 専門学校
名古屋校

自己評価報告

2020 年 5 月

学校法人ミスパリ学園
ミス・パリ エステティック 専門学校
名古屋校

2020 年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ エステティック専門学校名古屋校は、愛知県名古屋市東区に 2008 年 4 月に開校しました。同時期に姉妹校であるミス・パリ エステティック専門学校（大阪府北区）も開校しております。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、**31 年**の歴史があり、エステティック教育においては、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も 300 時間、1,000 時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。

専修学校として再スタートをする際には、全国でもあまり類を見ない 2 年間で 2,085 時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり 2020 年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

2. 実施方法

- (1)校長以下、課長、主任、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して評価を行う。
- (2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にしている。
- (3)評価は、年度終了後速やかに行い、年 1 回行うこととしている。
- (4)評価は各職員に評価表を配布、今年度より初めて自己評価を行う職員に対しては、各項目の説明、解説をしながら評価を行った。
- (5)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとする。

3. 自己評価の項目

- | | | | |
|------------|---------------|------------|---------|
| (1)教育理念・目標 | (2)学校運営 | (3)教育活動 | (4)学修成果 |
| (5)学生支援 | (6)教育環境 | (7)学生の受入募集 | (8)財務 |
| (9)法令等の遵守 | (10)社会貢献・地域貢献 | | |

4. 評価項目に対する評価（5 段階とする）

5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

以上

2020 年度 ミス・パリ エステティック専門学校 自己評価表

1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

2. 本年度に定めたていた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%・就職率 100%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（ミスパリ 4 校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

3. 自己評価

5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価	前年
1	学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか。	5	5
2	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか。	5	5
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか。	5	5
4	目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか。	4	4
5	教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか。	5	5

取り組み

- ・目標達成に向けての取り組みとして「学年目標・計画表」を活用し、全職員が目標に対する意識を持てるためのツールを導入した。
- ・保護者アンケートを年間２回実施し、学校の取り組みの周知や、保護者様のニーズを把握する取り組みを行った。
- ・キャリア研修会の報告について、就職先企業からの評価を担当、学年担当者に適宜メール、口頭での共有をしている。
- ・教育理念、教育目標を職員室の出入口に掲示し、常に確認できるようにしている。

課題

- ・企業からの評価を職員全体に共有できる方法を構築する。
- ・企業が求める育成人材像に近づける学生指導内容の策定。
- ・計画表を有効活用し目標達成させる。

今後の改善策

- ・キャリア教育研修会の報告及び、就職先企業からの評価内容を基に、現在企業が求める人材像を分析し、学生指導内容を必要に応じて見直しを行う。
- ・個人目標の立案と定期的な評価、修正を行う。
- ・「個人目標計画表」の定期的な実施に加え、「学年目標・計画表」をもとに２か月に１度の振り返りに加え、適宜学年ミーティングを実施する。

(2) 学校運営

	評価項目	評価	前年
1	事業計画等に沿った運営方針が策定されているか	5	5
2	学校運営などに学生の意見が反映されているか	4	4
3	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元に開放しているか	4	4
4	地域との協力関係が確立されているか	4	5
5	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか	4	5
6	人事・給与等に関する規程等は整備されているか	5	4

7	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	5	4
8	教職員の健康診断を実施しているか	4	4
9	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	4	4
10	ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか	5	4
11	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	4	4
12	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	5	5

取り組み

- ・保護者様へ本校の教育活動に対するご理解をいただくため、年度始めに学校の年間行事等の配布を行っている。
- ・学生が参加する学校行事に対しては学生実行委員を決め、講師とともにミーティングに参加させることで学生の意見も反映できるよう運営している。
- ・当初計画していた地域社会への参画については、新型コロナウイルス感染拡大を受け、中止となった。

課題

- ・教職員全体で学校運営についての認識を継続的に深める取り組みを工夫する。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行い、地域のボランティア活動に参加する機会を増やす。
- ・学生管理システムを有効活用し、業務の効率化を図る。

今後の改善策

- ・学校運営について教職員全員の認識を深めるため、講師研修を活用し目標の評価、改善策の検討を行う。
- ・健康診断受診チェック表を作成し、健康診断実施の徹底を図る。
- ・地域との関わりや取り組み方を検討し、ボランティア活動参加の機会と参加者を増やす。

(3) 教育活動

	評価項目	評価	前年
1	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか	5	5
2	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか	4	5
3	シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか	4	4
4	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか	5	4
5	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか	4	4
6	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか	4	5
7	評価結果による教員面接・指導が行われているか	4	4
8	未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか	4	5
9	資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか	5	5
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
11	教職員のスキルアップのための研修を行っているか	5	5
12	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	4	4
13	教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか	4	3

14	教職員による自己評価が定期的に行われているか	5	4
15	インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか	4	5
16	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	5

取り組み

- ・各学年ミーティングを2か月に1回定期開催し、必要時は臨時開催することで職員間の情報共有、共通認識が持てるようにした。
- ・授業アンケートの結果を基に、更に効果的な授業を行う目的で講師研修の計画、実施を行った。
- ・授業ごとに科目の学習内容を学生に伝え、学生自身が授業の到達目標の理解ができるように改善を行った。

課題

- ・各学年ミーティングの実施により教員の指導に一貫性を持たせる。
- ・授業単元毎の到達目標を明確にし、学生の学習意欲を更に高める。
- ・講師研修等で職員の指導力を強化し、クラス内での学習理解度の差を少なくするため授業進行等の検討を行う。
- ・学生の授業アンケート結果の分析を行い、職員の指導力を向上させる研修を計画、実施する。

今後の改善策

- ・学年ミーティングを行う際に「学年目標・計画表」を再度確認し、学生の進捗状況に合わせ、年間目標や2か月間の短期目標を適宜更新していく。
- ・学生の授業に対する満足度を上げるため、教職員に対して「教育に関するアンケート」を実施し教員が持つ学生指導に関する悩みを共有できる研修を実施することにより、改善を図る。
- ・学生の「授業アンケート」結果を分析し、8月と2月の講師研修会の際に職員の指導力向上のための研修を計画し、実施をする。
- ・各単元の初回授業時に授業回数、到達目標を学生に説明することで、各科目の目標を学生自身が把握し学修の成果向上を目指す。
- ・各単元の修了チェックと総評、手直しまでを授業時間内に行えるようスケジュールを調整し、未修了科目に対する対策を行う。
- ・引き続き、年2回実施する授業アンケート結果を元に教職員面談を徹底する。

(4) 学修成果

	評価項目	評価	前年
1	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か	5	5
2	学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか	4	5
3	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか	3	3
4	卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか	4	4
取り組み ・就職については、専任の就職担当者を中心に担任との連携により、学生をサポートできており、就職内定率 100%を達成した。 ・中途退学者を出さないために、1 年生は年間 3 回、2 年生は年間 2 回の定期面談を実施。個々の学生の状態に合わせ、担任以外の教職員との面談も適宜行った。 ・企業の方からの情報提供や、卒業生が来校した際の近況報告などにより、社会人としての心構えについての授業を行い、キャリア教育の授業を充実させた。 課題 ・資格試験の合格率を上げるために、試験同様の授業を行うなど、対策を講じる。 ・中途退学の減少を目指し、学生個々の状況に合わせた対応を検討する。 今後の改善策 ・試験日程に合わせた段階的な授業進捗と模擬試験を計画的に実施するなど、受験率、合格率のアップにつなげる。 ・新システムに個別の学生情報を適宜更新し、学生の対応方法や状況を職員全員が共有できる環境を作る。 ・学年ミーティングや職員会議を活用し、学生の変化を全教職員で注視することで迅速に対応ができる体制を整える。			

(5) 学生支援

	評価項目	評価	前年
1	学生の心身面での健康管理体制が整っているか	4	4

2	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか	5	5
3	学生のサークル活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか	4	5
4	災害など非常時の危機管理体制が整っているか	4	4
5	奨学金等の経済的支援があるか	5	5
6	学費減免、学費分納制度があるか	5	5
7	学生寮を保有しているか	5	5
8	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	5	5
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか	5	5

取り組み

- ・学生面談を1年生は年間3回(4月、7月、1月)実施、2年生は年間2回(5月、12月)に実施に加え学生の状況に応じ、適宜個別面談を行っている。
- ・学生の発案により園芸活動を開始した。

課題

- ・退学に伴う内定辞退者が出ているため、就業、就職に向けたモチベーションの維持を図るための指導方法を検討。
- ・精神的、社会的に様々な問題を抱える学生へのサポート体制の構築。
- ・入学時から2年間の学費を見越した、アドバイスやサポートを行い、金銭的に困難な学生へのフォローを行う。
- ・学生の精神・健康状態を注視し、日頃と違う様子の学生がいた場合の面談体制。

今後の改善策

- ・就職活動におけるモチベーションの維持、社会人になるための心構えとして気持ちを引き締めるために、2年生の面談時期を12月から10月に変更し、4月と合わせ年に2回実施する。
- ・学生が抱える悩みの状況によって外部機関の力を借りることを検討していく。

(6) 教育環境

	評価項目	評価	前年
1	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか	5	4
2	学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられているか	4	5
3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
4	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	5	5
取り組み ・年2回の校舎修繕計画により、効率的に修繕を行った。 ・学生の下足箱、傘立ての設置整備を行った。 ・年度末に加え、授業用機器、備品については、授業に支障のないように、適宜修理・補充を行った。 課題 ・授業計画や資格試験に合わせた教材や備品の定期チェックを行う。 今後の改善策 ・引き続き年2回の定期チェックだけでなく、授業前後での修繕チェックを行い不足する機器類の充当を行う。			

(7) 学生の受入募集

	評価項目	評価	前年
1	学生募集計画があるか。また成果は十分か	3	3
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか	5	5
3	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか	5	5
4	学校案内等には学費・教材費が明示されているか	5	5

5	入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか	5	5
取り組み ・新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、オンラインオープンキャンパスを導入した。 ・全教職員に募集計画を理解してもらう取り組みとして、職員室内に進捗表を掲示している。 ・教職員に対するカウンセリング研修を年間2回実施。 課題 ・定員目標達成に向けたカウンセリング力の向上。 今後の改善策 ・オンラインを活用したオープンキャンパスについては、学校の魅力や特徴が伝わるような内容を構築し、遠方からの入学者の増加につなげる。 ・学生の募集計画を職員が理解できるよう研修を導入する。また、カウンセリング研修を年数回、定期的の実施できるようにする。 ・入学前のカウンセリングで、エステティックマスター学科や専門職大学の説明を行い、学修の意欲を高めていく。			

（８）財務

	評価項目	評価	前年
1	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	4	5
2	財務について会計監査が適正に行われているか	5	5
3	財務情報公開の体制整備はできているか	5	5
取り組み ・新型コロナウイルス感染症対策協力金及び新型コロナウイルス感染症対策助成金の申請を行った。 ・財務管理に関する現状の取り組みについて、監事より高評価を受けている。 課題 ・教職員のコスト削減に対する意識を高める。 今後の改善策 ・より緻密な営繕計画を策定する。			

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価	前年
1	法令や専修学校設置基準を遵守しているか	5	5
2	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	5	5
3	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか	5	5
4	自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善につとめているか	4	4
5	自己評価結果を外部に対して公表しているか	4	5
取り組み ・該当する全教職員を対象に自己評価結果の研修を行った ・学生を対象とした SNS 使用に対する注意喚起や、正しい使用方法について、ホームルーム等の時間での周知や、事故が起こりやすい長期休暇前に注意喚起を行っている。 課題 ・引き続き職員全員が法令等の遵守を意識して行動できるようにする。 今後の改善策 ・現代において使用禁止されている言葉など、常に新しい情報を収集し学生の人権に配慮した対応をする。			

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	前年
1	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか	5	5
2	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	4	4
3	受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	5	5
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	5	5

取り組み

- ・ごみ分別に対する注意喚起を行い、学生が自主的な行動ができるように掃除の際にごみの分別を学生と共に行っている。

課題

- ・万全な感染防止策を講じながら新たな地域貢献の実施を検討する。

今後の改善策

- ・引き続き留学生の入学規定を全教員に徹底周知し、受入れ体制を整える。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、中学、高校のインターンシップを積極的に受け入れる。